

子どもたちに明るい希望と未来を伝えたい

えほんdeみらい



「えほんdeみらい」の高原和樹さん(右)、永井みさえさん(左)
普段、高原さんは製菓会社で働き、永井さんは絵本作家として活動している



取材の日には商業施設の書店で読み聞かせ会が行われた。終了後も会場に残った子どもたちと絵本を読む二人



絵本の表紙。たろ(左)ときつつ(右)の笑顔が並ぶ

◆えほんdeみらい
<http://ehon-de-mirai.com/>
 ◆次回読み聞かせイベントのご案内◆
 『扇町BOOKふえすていばる』
 平成28年5月14日(土)11:00~17:00(参加無料
 事前申込不要) [海老名駅西口中心広場]「プロムナード(西側)」(海老名市扇町) 詳細は↓にて随時発信されます。 <http://www.ebina-ougi-cho.jp>

「きみも もしかしたらひとりぼっちで よわむしかもしれないけど みらいには たのしいことも たいせつなひと も まっているかもしれない」(原文ママ)。絵本製作ユニット「えほんdeみらい」が製作した『てをつなごう』は、主人公のたぬきの「たろ」ときつつの「きつつ」が出会いを通して、未来は明るいこと、一人ではないことに気づいていく物語。作者の高原和樹さんと永井みさえさんは、社会人になって始めた児童養護施設での学習ボランティアをきっかけに、子どもたちが将来に対する不安を抱えていること

を知り、絵本を通してメッセージを伝えたいと思いました。製作を進めていく内に、一方的に作るのではなく、「子どもたちが参加することで、心の成長につながるきっかけになってほしい」との施設職員からの助言を得て、主人公の名前を子どもたちに付けてもらうことにしました。本会児童福祉施設協議会を通じて募集したところ13の児童養護施設から名前の候補が上がりました。その中から名前が選ばれました。平成27年10月に発行し、施設がある地域の書店に置いてもらえるよう働きかけています。書店回り

をする高原さんは「子どもたちが、自分たちも関わった絵本を、近くの書店で見つけて、自信につながってくれたら」と語ります。また、「周囲が児童養護施設のことや子どもたちの日常の様子を知らないことで、子どもたちの普段の姿があまりにも知られていないことに改めて驚きました」と永井さん。絵本を広める中で、親元で暮らすことができない子どもたちの現状が知られていないことに気づいたと言います。「周囲に正しい理解が広がるように絵本を活用してほしい。絵本を持って読み聞かせの活動を行うほか、今後は子どもたちと物語を作ってみよう」とお二人は今後の抱負を語ってくださいました。

(企画調整・情報提供担当)

医療・福祉界の健全発展に資することが私たちの使命です。

医療・福祉業界の皆様が抱える様々な問題の解決に向けて、経営コンサルティング・税務会計・会計監査などの専門サービスを総合的に提供できる体制を整備しております。

- ◆ 福祉経営・医療経営コンサルティング
- ◆ 福祉施設・医療機関への人事コンサルティング
- ◆ 福祉施設・医療機関に特化した税務会計・代行
- ◆ 福祉施設の第三者評価事業 など

福祉施設の皆様が地域のニーズに応え、時代や政策に適切に対応できるようご支援します。お気軽にご相談下さい。



川原経営グループ
 (株)川原経営総合センター／税理士法人川原経営



東京都中央区銀座8-11-11TK銀座8丁目ビル
 TEL (03) 3572-3051 E-mail : info@kawahara-group.co.jp
 URL : <http://www.kawahara-group.co.jp/>

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています